# q コマンド（ゲートタイム 1）

**[ 書式 ]**

**q<num>**

発音長の割合を指定します（quantize）。

すべての音符に対して、「音長÷ #Q_MAX ヘッダか QM コマンドでの指定値（初期値は 8）」にあたる時間が経過した時点でキーオフします。

ただし、#Q_MAX ヘッダや QM コマンドで 255 を指定した時のみ特殊モードになり、q コマンドの値がそのまま発音長のカウント値となります。

**[ 例 ]**

```
A Q0 q4 c8
; A c16r16 と同等
```

**[ 例 ]**

```
#Q_MODE 1
#Q_MAX 48
A q36 c4
; A c8.r16 と同等
```

**[ 例 ]**

```
#Q_MODE 1
#Q_MAX 255
A q10 c4d8e8.f2
; A l#10 cr4- dr8- er8.- fr2- と等価
;( 音符の長さにかかわらず、すべての音符が 10 カウント分の発音長になる )
```

設定可能範囲は 1 ～ #Q_MAX ヘッダか QM コマンドでの指定値となり、初期値は #Q_MAX ヘッダか QM コマンドでの設定値（未設定時は 8）です。

Q コマンドとの併用も可能です。

関連

Q コマンド , QM コマンド , #Q_MODE ヘッダ , #Q_MAX ヘッダ , #Q_REV ヘッダ